



令和2年度早川南小学校だより ㊦

はるき



令和3年1月8日

No.30

校長 河西 弘 明



**明けましておめでとうございます！
本年もどうぞよろしくお願いいたします。**



新しい年、令和3年を迎えました。穏やかな年明けとなったことと思います。3学期始業式の今日は、21名全員が揃って元気に新学期を迎えられ、大変嬉しく思いました。冬休み中、健康と安全に気をつけて生活していた児童の頑張りや、保護者の皆様のご配慮に感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大状況は、首都中心に緊急事態宣言が出され、県内でも日毎に感染者数が増えていく様子に、他人事ではない心配な気持ちになります。学校でも、これまで以上に感染対策を施していこうと思っておりますが、ぜひ、ご家庭においても、気を緩めることなく対策をお願いいたします。ただ…万が一感染してしまったら…それは誰も責めることはできないことだと思います。以前も書きましたが、温かい思いやりの気持ちを忘れないでいてほしいと思います。

休み中はひっそりとしていた校舎内が、主役である子どもたちが戻ってきて、学校は息を吹き返したように感じます。新しい年を迎え、3学期も始まり、改めて職員一同気を引き締めて、児童の指導に当たっていく所存です。今学期も、よろしくお願いいたします。



校歌を歌ってスタート

3学期はラストスパート！

正月の箱根駅伝で、総合優勝を果たした駒沢大学のアンカーの選手を引き合いに出して、今日の始業式では「ラストスパート」の話をしました。もしその選手がたすきを受け継いだ時に、「もう駄目かもしれない…」と諦めていたらどうだったでしょう…、きっとあの大逆転は生まれなかったことでしょう。「最後まで駆け抜ける」「最後まで力を振り絞る」、それがラストスパートの意味です、という話をしました。

3学期はとても短く、52日間しかありません。6年生は50日間ですが、それぞれの学年のまとめの学期として、とても大切な3カ月です。最後まで諦めずに、そして学年のゴールテープをしっかりと切って、次のステップとするために、児童全員が、最後までラストスパートしてほしいと願っています。

「新年の抱負を決めた人？」と尋ねたところ、手を挙げた児童は少なかったのですが、4人の代表児童の、冬休みの生活と3学期頑張りたいことの発表では、4人ともしっかりと目標を持っているようで安心しました。5年生の二人は、これまでの自分を振り返り、改めて勉強をしっかりとしたいという決意を発表していました。6年生の二人は、「最上級生らしく、ありがとうコンサートを頑張りたい」と、その行事の重要さを



を分かっている発言に、責任感とやる気を感じました。きっと、ほかの児童たちも、各々の目標をもって3学期を過ごしていくだろうということが、表情や話を聞く姿勢から伝わってきました。気持ちが引き締められ、学期の始めにふさわしい式でした。

「冬休みは、家族でテレビを見たり、餅つきをしたり、鳥小屋の掃除をしたりして楽しかったです。」(4人の発表より)